

ないよ

ります。そのうちの  
た、一人で悩んで  
るかもしれません。



地域のネットワークでソーシャルファミリーを作りたい



# 子ども村 ホッとステーション

子ども村 中高生ホッとステーションは歳末たすけあい・地域福祉募金の地域福祉活動助成金を使用して立ち上がった多世代交流の居場所です。今回は代表大村みさ子さんに、その思いについて伺いました。

## 立ち上げから現在まで

荒川区が子どもの貧困問題に注目し「学びサポートあらかわ」を始めた時に子どもの学習支援に関わっていたのですが、学習支援の前に、子ども達への生活のサポートが大事だと考えるようになりました。乳幼児のサポートはありますが、中高生は少ないと感じ、中高生にフォーカスを当ててこの活動を始めました。

設立時から多世代の人が関わることで「ソーシャルファミリー(血縁関係はないが家族のような距離感で長期にわたり一緒にいる関係)」になりたいと思いました。

現在では、中高生だけではなく、多世代交流の場である「ユニバーサルステーション」、幼児を対象とした「ふぁみ〜る子育て交流サロン」を開設し、多くの子どもや若者が参加できる居場所となっています。

最初は任意団体として発足しましたが、10月から一般社団法人として活動しています。

おかげさまで今は本当に色々な方々が利用してくれていて、毎日がにぎやかです。



バジルの袋詰め作業は多世代が参加しています



地域には若い力が必要と語る大村代表(左)と石浜副代表(右)

## 広がっていく活動

今、「中高生ホッとステーション」では若い世代のボランティアが沢山支えてくれています。都立大の学生とも連携し、一緒に自宅に訪問して居場所につながるよう支援してくれています。食事の提供もしており、皆との食事は気持ちをほぐしてくれます。今は食事中のおしゃべりは控えています、独りじゃないことで気持ちを温かくしてくれます。

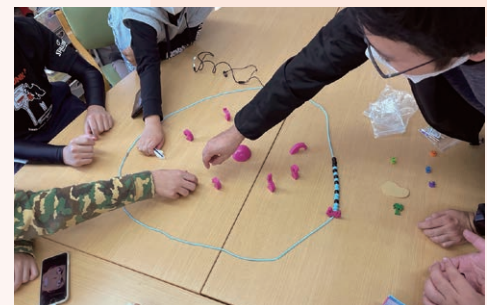
多世代の「ユニバーサルステーション」では子どもも、生きづらさを抱えた大人も、高齢者も一緒になって「バジルの袋詰め作業」をしたり、午後はみんなでおやつを作ったり。色々な世代が入り乱れて過ごしているのがひと昔前の路地裏のよう。子どもが大人にスマホの使い方

を教えたり、お互い様のつながりが生まれています。

「ふぁみ〜る」は今年度から始まりました。0歳から3歳までの子どもと保護者を対象にした子育て交流サロンです。ボランティアは皆さんベテラン。子どものお世話は、まさにプロです。ママの話も聞いてくれますよ。

どの活動も、「ソーシャルファミリー」を掲げ、活動しています。不安な時代だからこそ、つながることが大切です。赤ちゃんから

高齢者まで、参加でもボランティアでも気になったらいつでもいらしてください。



勉強が終わった後はボードゲームで楽しむひと時も

### 一般社団法人 子ども村 ホッとステーション

住所: 荒川区町屋2-21-2 フレスコ町屋201  
電話: 03-6240-8571  
HP: <https://www.kodomomura-hotstation.com>  
Mail: arakawa.kodomomura@gmail.com

## ひらいちゃんと いっしょ

荒川区社会福祉協議会の事業をひらいちゃんがレポートします!



今回もいくつりよー

第4回  
生活福祉資金貸付事業  
ってなあに?

生活福祉資金貸付事業とは…  
所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者のいる世帯に対して、資金の貸付と相談支援をおこないます。

相談支援を伴う  
貸付という  
ところが  
ポイントですね

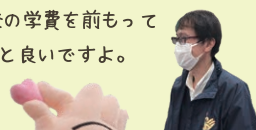
在宅福祉サービス係  
加藤 係長



貸付の内容は

- 私立高校や大学の進学費用
- 出産費用・葬儀費用
- やむを得ず転居しなくてはならない場合の転居費
- 就職活動中の生活費
- 土地・建物を担保とした生活費 などなど

いちばん利用が多いのが、進学費用。ギリギリになって困らないように進学したい学校の学費を前もって調べておくとうれいですよ。



お金を借りずに済めば、それに越したことはありません。

返済はできるか?  
借りずに済む方法は無いのか?  
一緒に考えていきましょう!

よく考えよう  
お金は大事だよ



らりね